2021年3月期第1四半期 決算補足資料

2020年8月11日

【免責事項】

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いており、 種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



Smart Life with Us テクノロジーでくらしをゆたかに

2021年3月期第1四半期について



連結売上高

3,437 百万円

前年同期比 +11.0%

連結営業利益

303 百万円

前年同期比 +71.9%

ISPサービス導入戸数

60.9 万戸

前期末比 +7.9%

AHN加盟店 店舗数

31 店舗

前期末比 + 3 店舗

連結業績サマリ 前年同期比較

単位:百万円	2021年 3 月期 1 Q 実績	2020年 3 月期 1 Q 実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	2021年3月期 通期 予想
売上高	3,437	3,097	340	11.0%	15,443
営業利益	303	176	127	71.9%	1,575
経常利益	300	157	143	90.6%	1,529
親会社株主に 帰属する当期純利益	185	71	114	159.3%	993

2021年3月期 第1四半期の業績は、前年同期比 売上高 11.0%増、営業利益 71.9%増

売上高は、HomeIT事業おけるランニング売上及び不動産事業の成長により増収。営業利益においても、集合住宅向けISP事業の規模拡大に応じた体制が整い、不動産事業の収益改善が進んだことにより、大幅増益

■売上高

HomeIT事業の集合住宅向けISP事業について、ランニング売上の積上げが大きく寄与し、増収。また、コロナ禍において大手包括提携先との連携による「SPES」の導入等に注力した結果、今期計画 13.0万戸増に対して、進捗率 34.4%と順調に推移

不動産事業については、フォーメンバーズにおいてコロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、社宅管理代行事業の成長(取扱件数:9,561件)等により、増収

2020年3月期末比 44,802戸増 累計 609,628戸

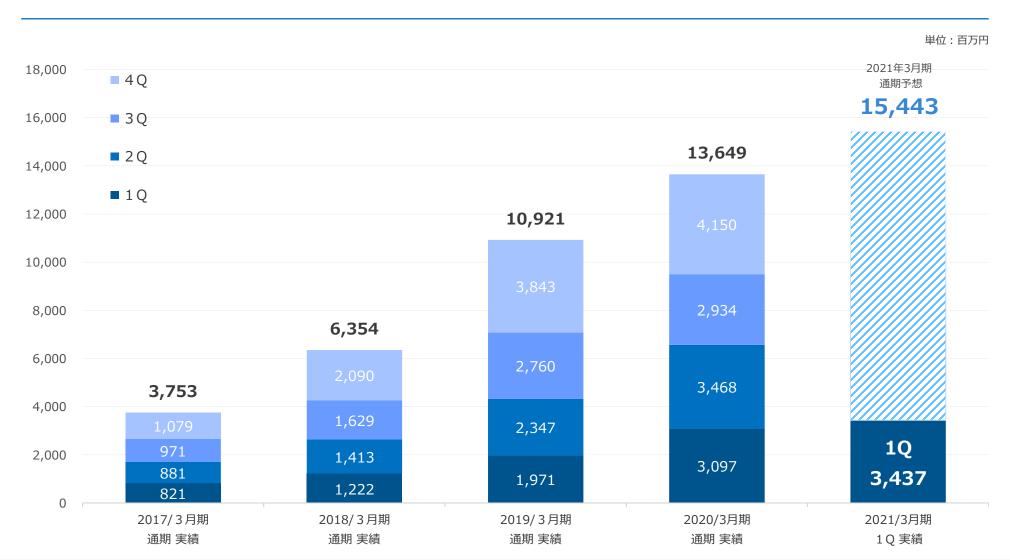
■営業利益

HomeIT事業の集合住宅向けISP事業において、ランニング売上の積上げによる増収と事業規模拡大に伴う体制強化への先行投資(人件費、設備等)が一巡したこともあり セグメント利益 692百万円(前年同期セグメント利益 600百万円)で着地

不動産事業は、フォーメンバーズにおいてコロナウイルス感染症拡大の影響により、計画どおり収益を確保できなかったものの、社宅管理代行サービスの拡大により、セグメント損失 54百万円(前年同期セグメント損失 120百万円)で着地

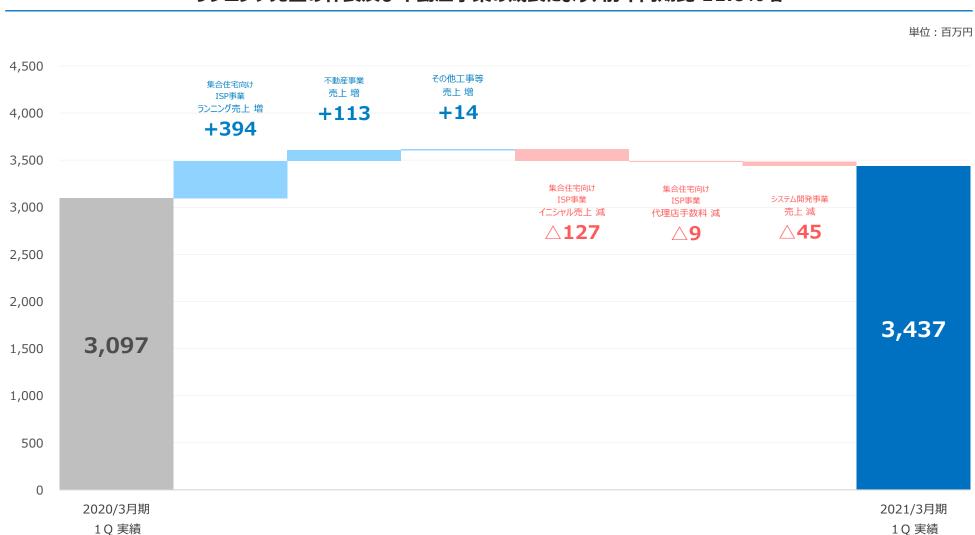
連結売上高推移(四半期別)

コロナ禍において、HomeIT事業及び不動産事業ともに前年同期を上回り、順調なスタート



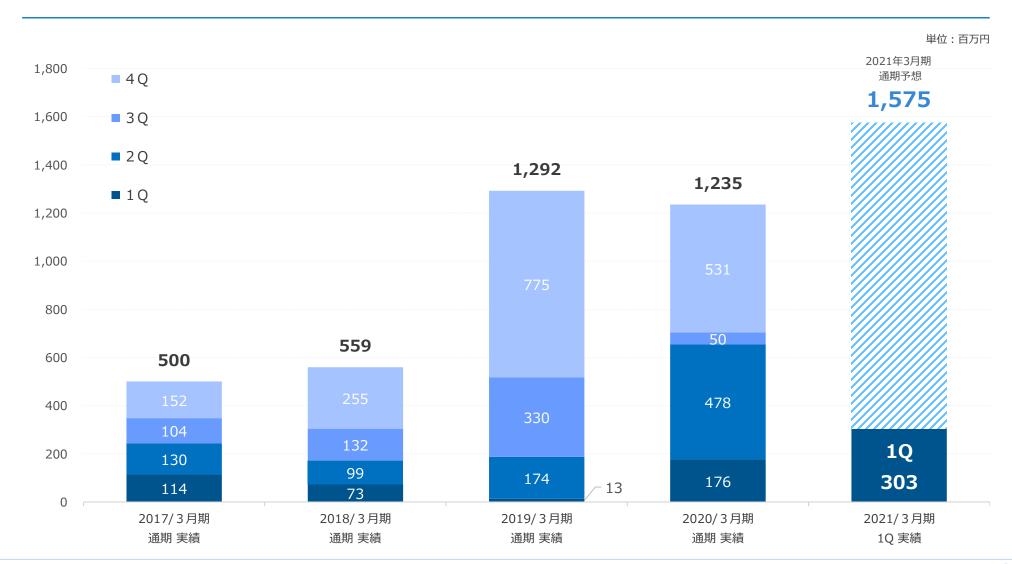
連結売上高 前年同期比較

前年同期に比べ、サービス提供戸数の増加率低下により、イニシャル売上等の減少がみられたものの、 ランニング売上の伸長及び不動産事業の成長により、前年同期比 11.0%増



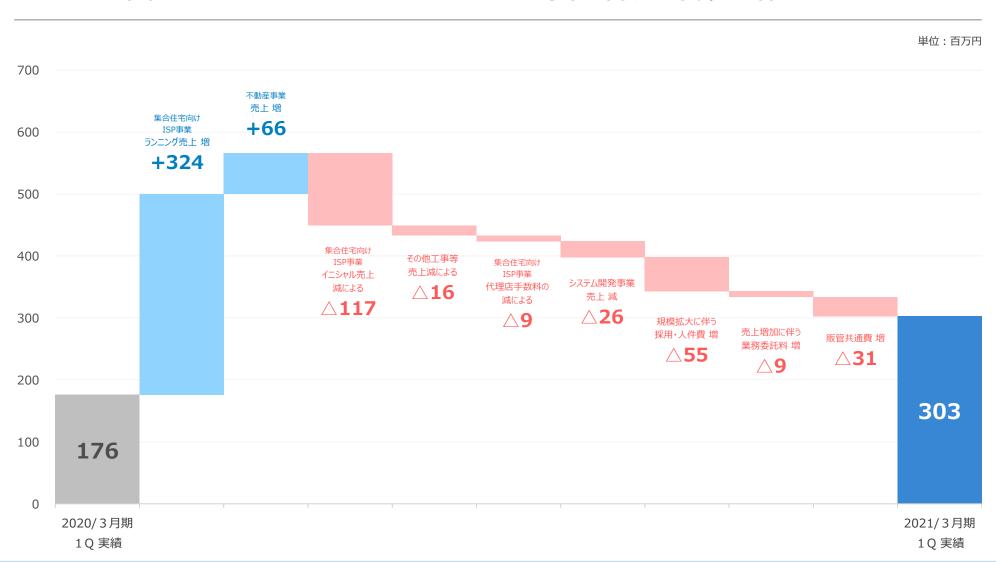
連結営業利益推移(四半期別)

好調なOEM提供と体制強化(人件費、設備投資等)の一巡に加え、不動産事業の改善も進み、大幅な増益



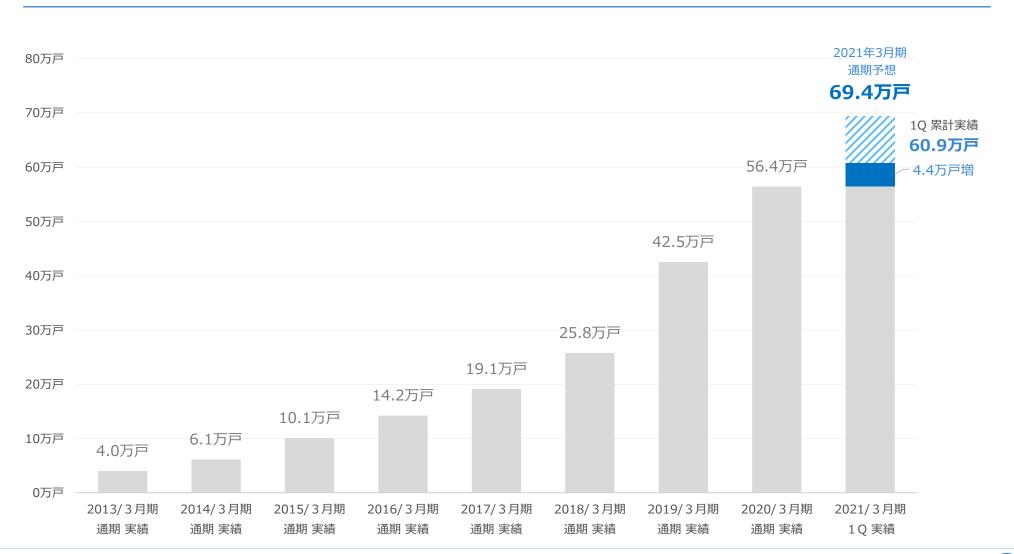
連結営業利益 前年同期比較

OEM提供を中心としたランニング売上の増加に加え、不動産事業の業績改善もあり、前年同期比 71.9%増



集合住宅向けISP事業 サービス導入実績

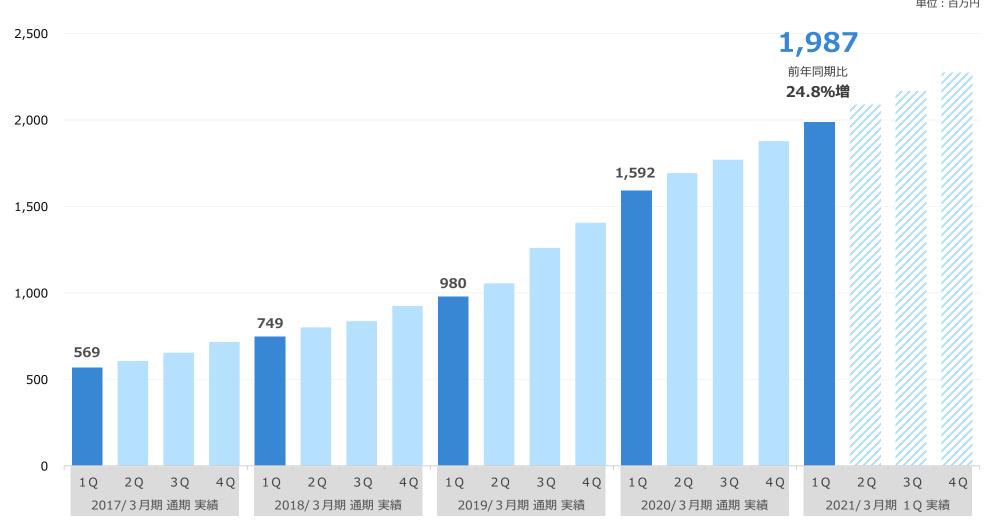
集合住宅向けISPサービス累計提供戸数は、前期末(56.4万戸)に比べ、4.4万戸増の 60.9万戸



集合住宅向けISP事業 ランニング売上推移

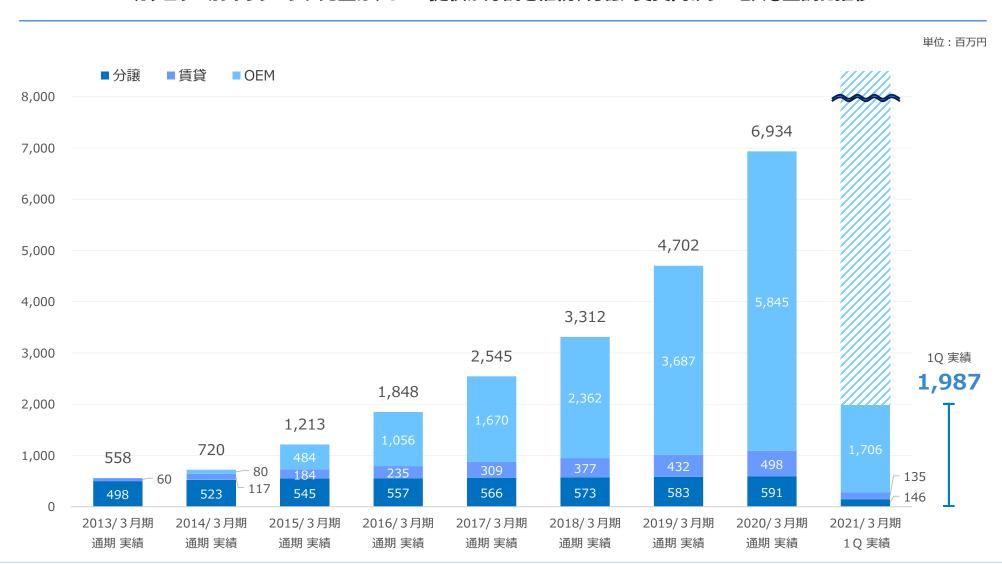
収益基盤のランニング売上は、前年同期比 24.8%増。引き続き、提供戸数の純増及びサービスレベル向上を目指す

単位:百万円



集合住宅向けISP事業 ランニング売上推移(カテゴリー別)

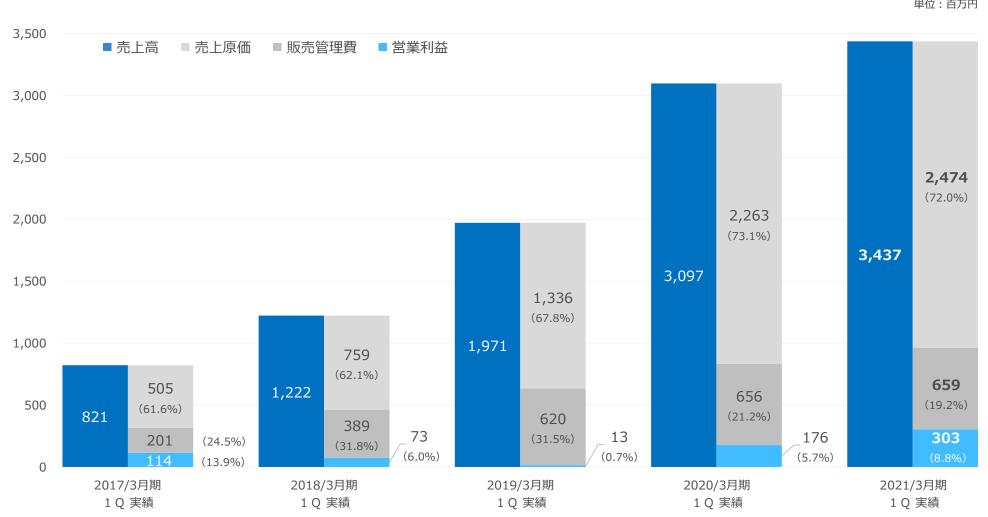
カテゴリー別のランニング売上は、OEM提供が好調を継続、分譲・賃貸向けサービスも堅調に推移



連結収益構造推移

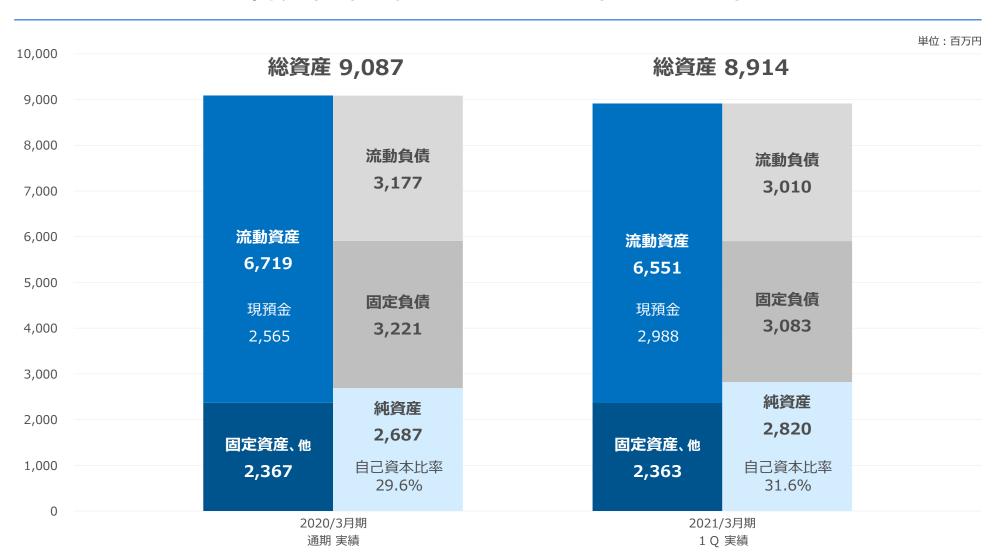
OEM提供の急速な成長により、事業規模拡大。事業規模拡大に伴う人材採用等の先行投資も一巡し、増益を確保

単位:百万円



連結貸借対照表推移

前連結会計年度末比、純資産 4.9%増。自己資本比率 2.0ポイント増加



不動産事業 - イオンハウジング ネットワーク(AHN)加盟店

■ イオンハウジング店舗一覧 (2020年6月30日時点)

区 分*	2020年3月期	2021年3月期
AM運営店舗	5	5
FM運営店舗	6	5
AHN加盟店舗	18	21
合 計	29	31

※ AM運営店舗: イオンモール(株) ハウジング推進事業部が運営する店舗

FM運営店舗: ㈱フォーメンバーズが運営する店舗

AHN加盟店舗: イオンハウジングネットワーク加盟企業が運営する店舗

九州・沖縄エリア

福岡県:

近畿エリア

大阪府:

兵庫県:

滋賀県:

合 計

関東エリア

東京都:

千葉県:

埼玉県:

神奈川県:

群馬県:

合 計: 18

鹿児島県:



中部エリア

愛知県:

三重県:

合 計 :

トピックス

【大東建託パートナーズ、管理物件への「SPES」本格導入開始 ~既存集合住宅へのインターネット環境整備を加速~】

当社と大東建託社のグループ会社、大東建託パートナーズ社は、世界初ISPサービス「SPES lを2020年4月より同社が管理 する全国の物件に対し本格導入を開始いたしました。

SPES

4つの特長

Single-Pair Ethernet Service

1. 宅内工事不要



宅内装置は梱包状態のまま郵便受けに投函 可能なサイズ、また設置は電話線につなぐだ けの簡単設計になっております。

入居者との丁事日程を調整する必要もなく、 お手軽にインターネットをご利用頂けます。

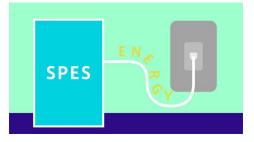
2. SPESと诵信速度



SPESは、ルータ・センター装置間は1Gbps、 センター装置・宅内装置は100Mbpsの通信が 理論上可能です。

実行速度は、30~90Mbpsと快適な通信 環境の提供が可能です。

3. 既存設備の活用



電話用2芯ケーブルを活用することで既存物 件でも新たな屋内工事を施工せずにインター ネット利用が可能になります。

宅内装置も電話線につなぐだけと簡単設置。 お手軽にWi-Fi環境の提供が可能です。

4. 最新のEthernet通信規格



車載イーサネットは高速かつ誤作動なく伝送す ることが求められます。「BroadR Reach®」は シングルペアのツイストケーブルを用いた通信& 給電技術が可能であり車載インターネットとして 標準化が進んでいる最新の通信規格の1つで す。SPESは、その技術を集合住宅へ用いるこ とで、快適なインターネット環境の提供が可能 です。

トピックス ② イオンハウジングネットワーク

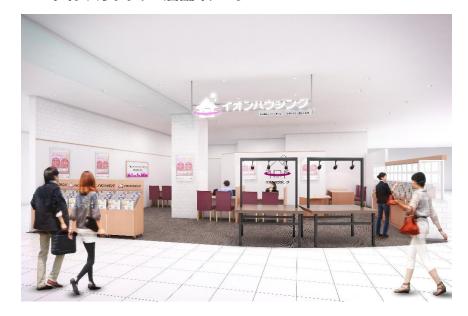
【イオンハウジングネットワーク店舗 新規オープン】

当社子会社の株式会社フォーメンバーズでは、2021年度末までに250店舗展開(フォーメンバーズ運営店舗、AHN加盟店舗含め)を目指しております。AHN出店を希望するお客様のニーズに合わせ、イオンモール内での出店や路面店での出店のほか、現在フォーメンバーズが運営している直営店舗のAHN化も視野に店舗展開を進めてまいります。

■新規オープン一覧

店舗名	所在地 リリース日		オープン日	
イオンモール草津店 (新規オープン)	滋賀県草津市	2020年4月10日	2020年5月21日	
イオンモール高崎店 (新規オープン)	群馬県高崎市	2020年5月15日	2020年5月18日	
イオンモール福岡店 (新規オープン)	福岡県糟屋郡	2020年6月11日	2020年6月11日	

■イオンハウジング 店舗イメージ



企業理念

MISSION

テクノロジーで人々の想いをつなぎ、豊かな社会を創造します

NEW

VISION

テクノロジーで不動産事業に新たな付加価値を創造する企業へ

VALUES

挑戦志向

自己成長

相互信頼

価値共創

変化対応

持って最後までやり遂げます。

失敗を恐れずチャレンジし、情熱を 一人ひとりが明確な目的意識を持っ 常に誰に対しても誠実であることに て、常に学び続けます。

努め、相互信頼の関係を築きます。

多様な価値観や個性を尊重し、チー ムとして新たな価値を創出します。

環境の変化にタイムリーに対応し、 常に「好奇心」「探究心」を持って 行動し続けます。

MISSION

テクノロジーで人々の想いをつなぎ、 豊かな社会を創造します



VISION

テクノロジーで不動産事業に 新たな付加価値を創造する企業へ 新たな市場の創出・更なる飛躍

VISION 2017年 不動産Techの リーディングカンパニーへ

ギガプライズグループ事業戦略 - 中期成長イメージー

新VISIONのもと、HomeIT事業と不動産事業の連携を一層高め、新たな市場の創出や展開を図り、更なる成長を目指す

